

ALL CHIGASAKI Plus 各団体の活動紹介を通じて人のつながりを!

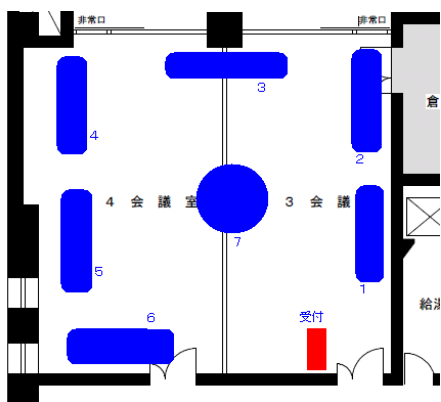
2014年4月19, 20日と、初のTAJのボランティアを通じて知り合った茅ヶ崎等で活動する団体8グループ、社協と茅ヶ崎市と協働で合同でイベントを春市民、大岡越前際内で開催しました。

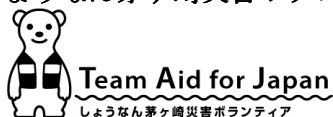
背景は、3年をすぎ東北地域はまだまだ復興には程遠い現状にあります。仮設住宅での生活も2年半がすぎ、日々風化の一途をたどる今の状況において、私たちの出きることは「**風化させない事**」そして茅ヶ崎では有事に備え、点から線に、そして面にと「**人のつながりを広めて行く事**」だと考え、で昨年12月15日に市長面談で説明した内容を、TAJを立ち上げてから今までに知り合った皆様と、「フラットな、オープンな、有意義な、茅ヶ崎のために(^)をテーマに!」ボランティア交流会を今年1月4日に企画開催し、団体はSDC マミーズ、地震津波防災警報スイッチオン、南三陸支援チーム「ありがとう」、ザ フラワーワゴン、茅ヶ崎トラストチーム、(有)ハスキー企画(山路ビル)、ちがけせん、南三陸親善大使、はまかぜちがさき、TAJ 10団体総勢 26名の参加がありました。そこで全員一致で実現しようと言う事になりました。

そして今回皆様の力で、集客力の有るイベントと同時開催のトライアルを実現出来る事になり以下3会場スタンプラリーを開催し、主会場Bの3Fへ足を運んでもらえるよう工夫しました。またボランティアで「満月マン」にも支援をもらいました。

事前の打ち合わせは4回ほど開催し、最終的に以下の団体の参加がありました。()は代表

1. TAJ (久我) 活動紹介 と 春市民で阿部民子さん物品販売参加。
2. ちがけせん (日向さん) 活動展示と物品販売 (餃子シュウマイめかぶ)。
3. 適切な情報提供 Project(入澤さん)白河ママ手作り小物販売,4/28 ツア-紹介。
4. ザフラワーワゴン (大村さん) 津波ビデオ、活動紹介と春市民で物品販売。
5. 南三陸支援チーム「ありがとう」(金子さん) 活動紹介、販売他。
6. 宇田川さん(細谷さん確認) 防災グッズ紹介他。
7. 南三陸復興大使(千葉さん) 南三陸震災記録紹介。
8. 茅ヶ崎トラストチーム(久能さん) 体育館前で有事のトイレの紹介他。





B 会場茅ヶ崎市民ホール3F の会議室へは、2 日間で 286 名（97 名+189 名）の参加がありました。募金は 18950 円集まり、雑費(会議室使用料 6500 円、文具 1600 円、ローソク代 8041 円) を引いた残り 2809 円は次回へ持ち越しとしました。 皆さん開催した意味は大いにあるとの感想を述べ、今後継続する形も含めて検討していくことになりました。



5 月 1 日に参加者と反省会を行い、主な意見を以下に纏めました。

1. やった意味は大いに有った。
(ア) 他のグループと繋がったのがよかった。
2. 開催場所を 1 つにした方が、よりいい開催になると考えられる。
(ア) VC に TAJ がいれば良かった。社協と繋がる意味でも。
(イ) 可能であれば一箇所で行いたい。
3. 次回開催であれば、主旨を決める。まずは以下大きく分けるとよい。
(ア) 各団体の活動紹介ブース。
(イ) 東北支物品援販売ブース。
4. 事前のチラシの周到な準備（配布場所部数等） 事前広報活動の必要性。
(ア) 満月マンは良かった。
5. 1 月に話した様に、市民、行政、団体でゆるく繋がって行く事が重要である。
6. 来年の春開催は、産業フェアは集客率が高いが、お客さんは興味がないので、トラストで話が有った様に、サポセン祭りのお客さんの方が関心が有った所を考えると、中央公園に移ってこれから伸ばしていく「サポセン祭り」に集約することも 1 つのアイデアだと考えられる」幸いに益永さんも前向きに考えているので今後話し合いを持つ。もちろん社協、茅ヶ崎市とも協働で話しあって行く。
7. 当初「秋のふれあい祭り」との話だったので、そこでの開催も考えてみては。市民自治推進課を通じて実行委員会に聞いてみる。こちらもちろん社協、茅ヶ崎市とも協働で話しあって行く。

以上 Team Aid for Japan ～ しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア 2014 年 5 月

